



住み続けたいまち・しながわ

新年度の施策が決定!

28年度の新たな取り組み

5月1日、新規開設! 平塚橋特別養護老人ホーム

平塚橋会館跡地（西中延1-2-8）に特別養護老人ホームが新設されました。この施設は、ショートステイ・多世代交流支援施設なども併設されています。高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを進めています。



区有地に大規模保育施設 ひろまち保育園 開園!

今年4月、広町1丁目の区有地に大規模保育施設が新設されました。敷地面積は約1,636㎡、定員は300名です。区は、総合的な待機児童対策を進め、平成22年～27年度で3,624人の受け入れを拡大、平成28年・29年度は1,386人の受け入れ拡大が実現します。



感震ブレーカーの設置費用を助成!

震災時、電気に起因する火災を防ぐため、大きな揺れを感知すると自動的に電気の供給を止める「感震ブレーカー」の設置費用の一部を助成します。



23区初! 町会・自治会の活性化を 推進する条例を制定

地域のつながりの中心となる町会・自治会活動を活性化するための条例を制定しました。あわせて、組織運営や加入促進などの支援・助成が充実します。

すまいるスクールの 運営時間を延長!

児童に放課後の居場所を提供する「すまいるスクール」の運営時間が午後7時まで延長されました。



いじめ防止対策 推進条例を制定!

いじめの根絶を目指し「いじめ防止対策推進条例」を制定しました。いじめ防止対策を効果的に推進するために、教育委員会附属機関「品川区いじめ対策委員会」と区長附属機関「品川区いじめ問題調査委員会」を設置し、区・学校・保護者・地域などが連携を図り、子どもの教育に携わる全ての人が一丸となって、いじめ防止に取り組みます。

しながわ中央公園に 災害時用ヘリポートを整備!

品川区役所に近接する「しながわ中央公園」に、災害時用ヘリポートとして活用できる広場を拡張整備します。防火貯水槽や災害用トイレなどの防災施設も設置し、いざというときの防災拠点となります。



ロタウイルスワクチン接種費用を助成!

急性胃腸炎の原因となり多くの乳幼児が感染する「ロタウイルス」は、ワクチンの接種で予防できます。1歳未満の乳児を対象にワクチン接種費用の一部を助成します。

2020年東京オリンピック・ パラリンピック 区内開催競技を体験!

2020年、区内開催が予定されている「ホッケー」「ビーチバレー」「ブラインドサッカー」の観戦ツアーや体験教室を行い、競技の認知度向上や障がい者スポーツへの理解を深める機会を提供します。

切れ目のない子育て支援 しながわネウボラネットワーク!

妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行う「しながわネウボラネットワーク」が本格的にスタートします。主な事業として、ネウボラ相談員による妊産婦相談、相談面接終了時の育児祝い品贈呈、産後家事育児支援ヘルパー、一時保育・ショートステイの拡充などが実施されます。



小・中学校体育館などの天井等落下を防ぐ 非構造部材の耐震化が完了

区は、学校施設の耐震化について「児童・生徒の安全確保はもとより、避難所としての機能強化が必要である」として、建物そのものの耐震化のみならず、天井材やバスケットゴールなどといった非構造部材の耐震化に取り組み、全ての区立小・中学校施設の改修工事を平成27年度末までに完了させました。

はじめての議会報告会を開催

日時：5月31日（火）午後6時30分～8時30分
（開場：午後6時）

場所：きゅりあんイベントホール

内容：議会のしくみ、議会改革の取り組み、委員会報告、議員との意見交換会
●入場無料、手話通訳・要約筆記・保育スペースあり

主催：品川区議会

【問合せ】区議会事務局 電話 5742-6808 FAX 5742-6895



住み続けたいまち・しながわ 28年度の新たな取り組み

安全・安心な施設へ小学校と幼稚園の改築

子どもたちが1日の大半を過ごす幼稚園・小学校施設の安全性を確保するため、改築工事を行います。【対象施設：芳水小学校、城南小学校、城南幼稚園、後地小学校】

ライフステージに応じた継続的支援を行う「障害児・者総合支援施設」を整備

区立品川児童学園の改築にあたり、従来の障がい児療育機能を拡充します。さらに、今後の障がい者の状況やニーズに対応できるよう整備を進め、ショートステイやデイケア、就労支援施設、精神科クリニック、レスパイトケアなど、障がい児・者と保護者を総合的かつ継続的に支援できる拠点になります。今年度から解体などの準備を開始し、開設は平成31年4月を予定しています。

しながわ防災体験館 リニューアルオープン!

防災センターを全面改修した体験型防災教育施設「しながわ防災体験館」が、今年3月にリニューアルオープン。日曜開館や多言語対応などで多くの方が利用しやすい施設となりました。



第1回定例会 代表・一般質問

感震ブレーカー

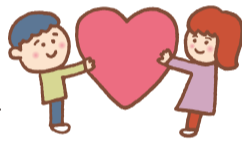
Q: 28年度予算に盛り込まれた感震ブレーカー設置助成の対象地域、助成金額等の概要とブレーカー遮断による停電時の避難行動や人工呼吸器等の医療用機器への対応等、リニューアルする「しながわ防災体験館」も活用した区民への周知について。

A: 木密地域不燃化10年プロジェクトの「不燃化推進特定整備地区」における木造住宅を対象に、分電盤タイプの感震ブレーカーを設置する場合、既存住宅へは5万円を上限に費用の2分の1、新築住宅へは1万円を助成する。周知については、留意事項等をまとめたリーフレットを対象住宅に配布し、区のホームページ・しながわ防災体験館のパネル展示でも啓発していく。

子どもの発達支援

Q: 福祉と教育の連携が重要であるため、課長級以上が参画する庁内療育支援ネットワークを構築すべき。

A: ネットワークは、情報の共有と連携のあり方を検討する場として、係長級を主体に進めてきた。今後は、政策的な課題にも対応できるよう、課長級での再構築を検討する。



子どもの貧困対策

Q: 子どもの貧困実態調査を実施した上で、貧困対策に関する計画を策定することを求める。

A: 現時点では実態把握に努めることとし、ひとり親家庭にアンケート実施などで支援ニーズの把握や見える化の研究など、実態に沿った支援策を推進していく。

川と水辺の利活用

Q: 目黒川等を運航させる船のルートは、都に強く働きかけ、広域的な水辺ネットワーク化を。

A: 都の舟運社会実験では、区内の棧橋に接岸・下船するルートの実現に向け働きかけを続ける。また、ネットワーク化に向け、棧橋・橋の利活用も区の社会実験で検討していく。

映像を活用したシティプロモーション

Q: 品川区を舞台にした映像作品が多数存在する中、ロケ情報をシティプロモーションの資源として集積・発信する都市型フィルムコミッションの仕組みが必要ではないか。

A: 区での一元的な映像関連情報の収集に努め、全国・世界に情報発信していく。

予算委員会 総括質疑

ネウボラネットワーク

Q: ネウボラネットワークの中に位置づけられた産後ドゥーラをはじめ、家事・育児支援の担い手を養成する仕組みを構築してほしい。

A: どういう担い手を確保すればいいのか(中略)これについても精力的に検討する。

ダブルケア

Q: 育児と介護に同時に直面するダブルケアに的確な対応ができる体制をつくるべき。

A: ダブルケアについての国の調査を受け、区としての取り組みを検討していく。



食品ロスの削減

Q: 日本で発生する年間約1,700万トンの食品廃棄物の内、約642万トンが本来食べられるのに廃棄されている。食品ロス削減について、区は積極的に取り組むべき。

A: 環境・清掃・リサイクルの観点から必要な取り組みであり、区では食品業界に対する「SHINAGAWA もったいないプロジェクト事業」を展開。今後は、食品ロス削減などを含む「もったいない」テーマを広く区民に募るなど普及啓発に取り組んでいく。

視察報告

藤沢市湘南 ロボケアセンターを視察

湘南ロボケアセンターは神奈川県が推進する「さがみロボット産業特区」のシンボリックな拠点です。20社以上のロボット関連企業の製品を展示するショールーム「ロボテラス」、ロボットスーツHAL(写真)を活用したフィットネスで脊髄損傷や脳卒中後遺症などで失った身体機能を回復するプログラムを実施しています。

失った肢体の機能がロボット技術で蘇る、そんな未来もそう遠くないと予感しました。



公明党の区議会議員



わかばやし 若林 ひろき



しのぶ たけうち 忍



あさの 浅野 ひろゆき



たかこ このの 孝子



つかもと 塚本 よしひろ



ひろお あくつ 広王



しん いちろう つる 伸 一郎



にいづま 新妻 さえ子

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org